

五輪選手団

公式服装の「日の丸カラー」を めぐる俗説と史実の間

－ 64 年東京五輪を中心に－



安城 寿子

オリンピックの入場行進で日本選手団が着用する公式服装は、いつ頃、誰の発案によって、赤と白の「日の丸カラー」になったのだろうか。

また、その歴史はどのように語られてきたのだろうか。本講座では、望月靖之という無名の人物が「日の丸カラー」の公式服装を考案した歴史をひも解き、さらに、東京五輪（1964 年）の公式服装をデザインしたのはメンズアパレルブランド「VAN」創業者の石津謙介であるとする俗説が流布した複雑な背景について明らかにする。

【日時】

2024 年 9 月 5 日（木）14 時～15 時 30 分 ※13 時 30 分開場

【場所】

阪南大学あべのハルカスキャンパス（あべのハルカス 23 階）

【講師】

阪南大学経営学部教授 安城 寿子（服飾史家）

【参加費】

無料（要事前申込）

【定員】

70 名

【お申し込み】

右記二次元コードよりハルカス大学 Web サイトにて受付
(<https://harudai.jp/course/detail/20240905gorin.php>)

